



東京フィルハーモニー交響楽団

2021シーズン ～新しい景色をみたい～

東京フィルの 午後のコンサート。

2021 11

〈バッティスト二の運命〉

第12回 渋谷の午後のコンサート

11月2日(火) 14:00開演

Bunkamura オーチャードホール

第90回 休日の午後のコンサート

11月7日(日) 14:00開演

東京オペラシティ コンサートホール

Chie / &





©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
オーケストラの響きとともに広がる＜新しい景色＞を
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten

マルハニ

LOTTE

JP ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第12回

渋谷の午後のコンサート

11.2 (火) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール

Tue. Nov. 2, 2021, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall

第90回

休日の午後のコンサート

11.7 (日) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Sun. Nov. 7, 2021, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

〈バッティストーニの運命〉

指揮とお話 **アンドレア・バッティストーニ** Andrea Battistoni, conductor & speaker
コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ヴェルディ：歌劇『運命の力』序曲（約8分）

Verdi: Overture from opera "La forza del destino" (ca. 8 min)

ヴォルフ＝フェラーリ：歌劇『マドンナの宝石』間奏曲（約5分）

Wolf-Ferrari: Intermezzo from opera "The Jewels of the Madonna" (ca. 5 min)

プッチーニ：歌劇『マノン・レスコー』間奏曲（約5分）

Puccini: Intermezzo from opera "Manon Lescaut" (ca. 5 min)

ポンキエッリ：歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」（約8分）

Ponchielli: Dance of the Hours from opera "La Gioconda" (ca. 8 min)

— 休憩 intermission —

ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 Op. 67『運命』（約32分）

Beethoven: Symphony No. 5 in C minor, Op. 67 (ca. 32 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）| 独立行政法人 日本芸術文化振興会

協力：朝日新聞社、Bunkamura (11/2)

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with The Asahi Shimbun Company and Bunkamura (Nov. 2)



文化庁
Agency for Cultural Affairs
Government of Japan

※演奏中や曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。

※開演間際の入場、再入場・途中入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。

※終演後、ロビーの混雑を避けるため「時差退場」のお願いをしております。ご協力をお願いいたします。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter just before or in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance.
- In order to avoid crowding when exiting the hall, we ask that you exit the hall by staggered times in cooperation with guidance that staff will provide at the venue at the end of the concert.

出演者プロフィール



©上野隆文

指揮とお話

アンドレア・バッティストーニ

Andrea Battistoni, conductor & speaker

東京フィルハーモニー交響楽団 首席指揮者

1987年ヴェローナ生まれ。国際的に頭角を現している同世代の最も重要な指揮者の一人と評されている。2013年ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場の首席客演指揮者、2016年10月東京フィル首席指揮者に就任。

『ナブッコ』、『リゴレット』、『蝶々夫人』(二期会)、グランドオペラ共同制作『アイダ』のほか、ローマ三部作、『展覧会の絵』、『春の祭典』等数多くの管弦楽プログラムで東京フィルを指揮。東京フィルとのコンサート形式オペラ『トゥーランドット』(2015年)、『イリス(あやめ)』(2016年)、『メフィストフェレ』(2018年)で批評家、聴衆の双方から音楽界を牽引するスターとしての評価を得た。同コンビで日本コロムビア株式会社よりCDのリリースを継続している。

スカラ座、フェニーチェ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、スウェーデン王立歌劇場、アレーナ・ディ・ヴェローナ、バイエルン国立歌劇場、マリインスキー劇場、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、イスラエル・フィル等世界の主要歌劇場・オーケストラと共演を重ねている。2017年には初の著書『マエストロ・バッティストーニの ぼくたちのクラシック音楽』(音楽之友社)を刊行。

2021年、東京フィルとの録音『ドヴォルザーク新世界&伊福部作品』欧米盤が欧州の権威ある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」交響曲部門(20-21世紀)を受賞した。

Website <http://www.andreabattistoni.it/>

プログラム・ノート

解説＝柴田克彦

バッティが紡ぐ深い哀感と情熱溢れる音楽世界

今回の「午後のコンサート」は〈バッティストーニの運命〉。東京フィルの首席指揮者アンドレア・バッティストーニが、「運命」にまつわるシリアスでドラマティックな音楽を披露します。

前半はマエストロが得意とする自国イタリアのオペラの管弦楽曲。主人公がまさしく運命に導かれて死に至る悲劇的な物語の音楽が並んでいます。しかもこれらの楽曲には、イタリア・ロマン派オペラならではの美しい旋律が多数含まれており、それらがより哀しみを深めながら陶醉の世界へと誘います。後半はベートーヴェンの『運命』交響曲。「運命動機」と呼ばれる「ジャジャジャ・ジャーン」の音型が支配した、おなじみの名曲です。こちらは「苦悩」から「歓喜」へと向かうダイナミックな音楽にたつぷりと浸りましょう。

バッティストーニといえば濃厚なカンタービレや情熱的・劇的な迫真性が持ち味。そのタクトは、本演目になおいつそうの活力と哀感をもたらすに違いありません。



イタリアオペラとベートーヴェンでマエストロの情熱と哀愁を届けます

©上野隆文

ヴェルディの管弦楽曲の中でも屈指の人気作



幕開けはイタリア・オペラ最大の作曲家**ジュゼッペ・ヴェルディ** (1813–1901) の**歌劇『運命の力』序曲**。当オペラ (1862年初演。全4幕) は、ロシアのペテルブルクの帝室歌劇場 (現・マリンスキー劇場) の依頼で書かれ、同劇場で初演されたヴェルディ中期の名作です。物語は、誤って恋人レオノーラの父を殺してしまったドン・アルヴァーロが、運命の力に翻弄される悲劇。アルヴァーロは決闘でレオノーラの兄をも殺し、レオノーラは瀕死の兄に刺されるといいう陰惨な結末を迎えます。ヴェルディは、1869年ミラノ・スカラ座での改訂版初演にあたり、ロシア初演時の前奏曲を改めて長めの序曲を作曲。シンフォニックなこの曲は、ヴェルディの管弦楽曲の中でも屈指の人気作となりました。

曲は、本編の旋律を用いて展開される、オペラ全体を暗示した音楽です。金管楽器の強奏で開始。快速調で本編を象徴する「運命のテーマ」、テンポを落として「第4幕の二重唱」「祈りの動機」などが奏され、再び快速調となって劇的な盛り上がりをみせます。

甘く美しい旋律が感傷を誘う間奏曲



おつぎは**エルマンノ・ヴォルフ＝フェラーリ** (1876–1948) の**歌劇『マドンナの宝石』間奏曲**。ヴォルフ＝フェラーリはプッチーニよりも年下のイタリアの作曲家で、多彩な作品を残しました。その中でも特に知られた『マドンナの宝石』(1911年初演。全3幕) は、義妹マリエラに恋心を抱く青年ジェナロが、彼女のために聖母の宝石を盗み出すも、マリエラは盗賊の首領のもとに走り、ジェナロは自殺するといった悲惨な物語。オペラ自体の上演は稀ですが、第2幕の前に演奏されるこの間奏曲は古くから愛されてきました。

まずは甘く感傷的な旋律が切々と歌われ、オーボエが活躍する中間部で若干曲調をチェンジ。その後主旋律がより感情を込めて奏されます。

悲劇の愛を映し出す悲哀に満ちた切ない旋律

かわつてはヴェルディに続くイタリア・ロマン派オペラの大家**ジャコモ・プツ**

チーニ (1858－1924) の歌劇『マノン・レスコー』間奏曲。当オペラ (1893年初演。全4幕) は、プッチーニが初めて成功を収めた輝かしい出世作。物語は、修道院に入るはずのマノンが、互に一目惚れした騎士デ・グリユーとの恋の果てに、流刑先のアメリカの荒野で亡くなるといった悲劇です。



第2幕で、大臣の妾になっていたマノンは、デ・グリユーとの逃走を図るも逮捕されます。そして第3幕、デ・グリユーは港の獄舎で流刑を待つ彼女を助けようとしますが、首尾よく運ばず……。間奏曲はこの第2幕と第3幕の間に演奏されるナンバーです。弦楽器陣が奏でるデ・グリユーの愛を示す切ない旋律を変化させながら、悲哀に満ちた音楽が繰り広げられます。

「ファンタジア」でも使われた華やかなバレエ音楽



オペラ物の最後は**アミルカーレ・ポンキエリ** (1834－1886) の歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」。ポンキエリはヴェルディとプッチーニの間に位置するイタリアのオペラ作曲家で、『ラ・ジョコンダ』(1876年初演。全4幕) はほぼ唯一の有名作です。物語は歌姫ジョコンダをめぐる恋に宮廷の陰謀が絡んだ悲劇。ジョコンダは愛する人と恋敵を追っ手から逃して自殺するという、これまた悲しい結末を迎えます。

「時の踊り」は第3幕第2場の舞踏会におけるバレエ音楽。古くから単独で愛され、ディズニー・アニメの「ファンタジア」での使用やポップスなどへの転用でも知られています。曲は夜明けから夜までの時の移り変わりを表わす内容。グロッケンシュピールが時計の音を表現します。まずは爽やかな朝の様子が鳥のさえずりを模した木管楽器を中心に表現され、おもにチェロが奏でる2つのたっぷりとした旋律が昼～夕方雰囲気を表わした後、テンポを速めて華やかな夜に至ります。

クラシック音楽の代名詞、『運命』交響曲



後半は耳の病を乗り越えて数多の名作を残したウィーン古典派の巨匠**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン** (1770－1827) の**交響曲第5番**

『運命』。強烈な出だしと相まってクラシック音楽の代名詞ともなった創作中期の傑作です。主として1807年に、対照的な曲調の第6番『田園』と相前後して作曲され、翌年12月の自主演奏会で同時に初演されました。

曲のポイントは、「ジャジャジャ・ジャーン」の4音=通称「運命動機」が全体の根幹となり、特に第1楽章がその動機の積み重ねによって作られている点にあります。『運命』のタイトルは、「『運命はこのようにして扉を叩く』とベートーヴェンが語った」という弟子シンドラーが伝える逸話に由来していますが、彼の伝える話は捏造が多く、これも信憑性が疑われています。しかも『運命』と表記されるのはほぼ日本のみ。とはいえ、それらしく聞こえなくもないですし、劇的な内容に合っているのも確かです。

ベートーヴェンは9曲の交響曲ごとに新機軸を打ち出しましたが、本作はそれがとりわけ顕著です。旋律ではなく短い動機を主軸にした発想と、その動機が全体に登場して曲を統一する有機的な構成、闘争から勝利に至る“暗から明へ”の明確な構図、第3楽章の最後を盛り上げたまま第4楽章に入る斬新な手法、交響曲史上初となるピッコロ、コントラファゴット、トロンボーンの使用（すべて第4楽章のみ）など、独創性を満載した作品です。

第1楽章（アレグロ・コン・ブリオ）は、運命動機によって緻密に構成された、緊迫感溢れる楽章。

第2楽章（アンダンテ・コン・モート）は、美しくも雄大な緩徐楽章。伸びやかな第1主題と上行形の第2主題に基づく自由な変奏曲で、全体に前者が中心となります。運命動機は第2主題に内包され、低音弦楽器にも現れます。

第3楽章（アレグロ）は、いわゆる「スケルツォ」の楽章。低音から湧き出るような主題と、ホルンが出す運命動機を軸にした主部に、激しく動く中間部が挟まれます。最後の不気味な部分が徐々に盛り上がり、その頂点で次楽章へ移ります。

第4楽章（アレグロ）は、冒頭の輝かしい第1主題と滑るような第2主題を軸に果てしなく高揚するフィナーレ。途中で第3楽章の回想を挟み、力強く華やかな終結に至ります。

しばた・かつひこ（音楽ライター）／音楽マネジメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」（朝日新書）。このほど「吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」（音楽之友社）を上梓。

今回の「**午後のコンサート**」

お客様の質問募集中!



第24回 平日の午後のコンサート
2022年2月3日(木)
〈夢を語りますか〉



第91回 休日の午後のコンサート
2022年2月6日(日)
〈テーマは愛〉



©Earl Ross



©Kiyotaka Saito

14:00開演(13:15開場) 東京オペラシティ コンサートホール

指揮とお話: 三ツ橋敬子 ピアノ: 仲道郁代*

リスト／ハンガリー狂詩曲第2番

ショパン／アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ*

ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』よりワルツ

チャイコフスキー／幻想序曲『ロメオとジュリエット』(2/3)

チャイコフスキー／バレエ組曲『白鳥の湖』より(2/6)

三ツ橋敬子 東京藝術大学及び同大学院を修了。第10回アントニオ・パドロッティ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。2021年4月、コロナ禍においてNHK交響楽団デビューを飾り、その堅実な解釈力と手腕に対し各方面より称賛を得た。

仲道郁代 日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。バイエルン放送響、フィルハーモニア管等共演。CDはP.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルとの協奏曲を含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」他多数。「仲道郁代The Road to 2027プロジェクト」リサイタルシリーズを展開中。



おかげさまで3シーズン目ファイナル! 渋谷の「**午後のコンサート**」

2019年よりBunkamuraオーチャードホールで開幕した【渋谷の午後のコンサート】、お陰様で3シーズン目を終えました。2022シーズンは5月に開幕します。セット券でご購入いただいた皆様には、12月以降「継続のご案内」をお送りいたします。詳細は次のページもご覧ください。

来季も引き続き、コンサートホールでしか聞けない“とっておき”のお話と名曲をお届けします。皆様のご来場をお待ちしております。



完売公演となった今年9月「コパケン」のチャイコフスキークライマックス!!より ©寺司正彦

お申し込み・お問合せ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (10時～18時・土日祝休) URL www.tpo.or.jp/

11月の定期演奏会 特設サイト公開中!

まだ
間に合う!

東京フィルの2021シーズン締めくくりを飾る11月定期演奏会は、首席指揮者アンドレア・バッティストーニが登場! ルネサンス期の傑作絵画、ヒエロニムス・ボスの『快樂の園』にインスパイアされたフルート協奏曲を、自作自演・日本初演でお届けします。

マエストロのメッセージやインタビューをご紹介した特設サイトを公開中です。コンサートの前にどうぞお楽しみください。

<https://www.tpo.or.jp/information/detail-20210922.php>



ヒエロニムス・ボス『快樂の園』(The Garden of Delights, 1503-1504, プラド美術館蔵)

日時・会場 11月3日(水・祝) 15:00開演
Bunkamuraオーチャードホール

11月4日(木) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

出演 指揮: アンドレア・バッティストーニ(首席指揮者)
フルート: トンマーゾ・ベンチョリーニ*

曲目 — バッティストーニの作品 —
バッティストーニ/フルート協奏曲『快樂の園』
～ボスの絵画作品によせて*(2019) [日本初演]
チャイコフスキー/交響曲第5番

料金 SS¥15,000 S¥10,000 A¥8,500
B¥7,000 C¥5,500

※残席状況は東京フィルチケットサービスまでお問合せください。

問合せ 東京フィルチケットサービス03-5353-9522(平日10時～18時・土日祝休)
東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



アンドレア・バッティストーニ
©上野隆文

トンマーゾ・ベンチョリーニ

バッティストーニ&東京フィル、 2021年OPUS KLASSIK 20/21世紀部門受賞

首席指揮者アンドレア・バッティストーニと東京フィルのコンビが日本コロムビア株式会社よりリリースしてきた「BEYOND THE STANDARD」全5タイトルのうち、第1弾『ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」/伊福部昭:シンフォニア・タブカーラ、ゴジラ』の欧米盤(Denon/MDG より2020年7月発売)が、ドイツで最も権威のあるクラシック音楽の録音賞であるOPUS KLASSIK賞を20/21世紀部門で受賞しました。

国内盤:2018年4月日本コロムビア株式会社より発売
アンドレア・バッティストーニ指揮 / 東京フィルハーモニー交響楽団『ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」/伊福部昭:シンフォニア・タブカーラ、ゴジラ』[COCQ-85414]



【お正月恒例!】ニューイヤーコンサート2022

日時 1月2日(日)、1月3日(月) 15:00開演
会場 Bunkamuraオーチャードホール
出演 指揮:角田鋼亮
ゲスト:1/2公演=角野隼斗(ピアノ)、
1/3公演=岡本誠司(ヴァイオリン)
司会:朝岡聡

曲目 ラヴェル/ボレロ、
お楽しみ福袋プログラム ほか

料金 S席¥6,600 A席¥5,500
B席¥3,500(税込・全席指定)

問合せ 東京フィルチケットサービス03-5353-9522(平日10時~18時・土日祝休)
東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



©Hikaru Hoshi

©S. Ohsugi

NHK BS1「必ず よみがえる〜魂のオーケストラ 1年半の闘い〜」 放送のご報告と御礼

2020年からのコロナ禍における東京フィルの取り組みが、9月15日、23日(再放送)の2回にわたりNHK BS1スペシャル「必ず よみがえる〜魂のオーケストラ 1年半の闘い〜」として放送され、多くのお客様から反響をいただきました。お客様、日頃ご支援くださっている皆様、そして関係各位のご協力とご支援に、御礼申し上げます。



Photo Reports 2021年9月の演奏会より

9月の定期演奏会は名誉音楽監督 チョン・ミョンフンが再び来日。ブラームスの交響曲全曲演奏プログラム《ブラームス 交響曲の全て》より「第3番」「第4番」を演奏。3公演とも多くのお客様にお越しいただき、熱烈なカーテンコールとともに交響曲ツィクルスが幕を下ろしました。同月、NHK BS1「BS1 スペシャル」で、2020年からの東京フィルの取り組みとマエストロ チョン・ミョンフンとの関係が特集され、2回にわたり放送されました。

人気シリーズ「休日／渋谷の午後のコンサート」では、マエストロ小林研一郎が登場。〈コパケンのチャイコフスキークライマックス!!〉のタイトルで、チャイコフスキーの華麗かつ憂愁の響きをお届けしました。

写真=上野隆文 (9/16) / 三浦興一 (9/17, 19) / 寺司正彦 (9/7)

9月定期演奏会 (9/16、17、19)

指揮：チョン・ミョンフン
(東京フィル名誉音楽監督)

コンサートマスター：近藤薫

ー ブラームス 交響曲の全て ー

ブラームス／交響曲第3番 ヘ長調 Op. 90

ブラームス／交響曲第4番 ホ短調 Op. 98



東京オペラシティコンサートホールでのリハーサルより



メンバー同士もアンサンブルの打合せを重ねます



リハーサル初日、マエストロから20年前に東京フィルに贈られた「スコープ」があらためて披露されました



スコープに込められた「一緒に、深いところにある音を掘り起こそう」という言葉とともに、公演会場ロビーでも展示しました



マエストロの指揮から紡ぎ出されるブラームスの響きは客席だけでなくオーケストラをも魅了



マエストロは今回も厳しい防疫措置にもとづいて入国。東京オペラシティ定期シリーズ、サントリー定期シリーズでは客席の最前列数列を開けることが求められました。お客様のご理解とご協力に篤く御礼申し上げます



最終日、オーチャード定期演奏会にて。客席と舞台が一体となり、終演後も長く熱烈なカーテンコールが繰り返されました

第89回 休日の午後のコンサート(9/5)

第11回 渋谷の午後のコンサート(9/7)

〈コバケンのチャイコフスキークライマックス!!〉

チャイコフスキー／

歌劇『エフゲニー・オネーギン』よりポロネーズ

弦楽セレナードより第1楽章

バレエ組曲『くるみ割り人形』より

「行進曲～トレパック～花のワルツ」(9/5)

スラヴ行進曲(9/7)

交響曲第6番『悲愴』より第3楽章

交響曲第5番より第2楽章

交響曲第4番より第4楽章

指揮とお話：小林研一郎

コンサートマスター：依田真直



渋谷の午後のコンサート(9/7)より。「チャイコフスキーとちょうど100歳違い」というマエストロ・コバケンの、想いのこもったチャイコフスキーをお届けしました

信時 潔 作 交声曲『海道東征』の感動を再び

—東京フィルに繋がる「人の縁」数々—

東京フィル評議員／元東京電力株式会社取締役社長
南 直哉



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第6回は、東京電力株式会社にて取締役社長を務められ、2001年からは東京フィルの評議員としてご助力くださっている南 直哉様にご寄稿いただきました。

私は関西の僻村^{へきそん}で次男に生まれ開戦翌年に当時の国民学校に入学、新制高校卒業までの18年間で故郷で過ごしたが、その間数多くの「人の縁と幸運」に恵まれて東京の大学で学び職を得てそのまま東京近辺に腰を据えている八十路半^{ろうもう}過ぎの老耄^{ろうもう}である。

私が本格的なクラシック音楽に接したのは、大学卒業後東京電力に入社（これも“人の縁”のお陰）して新入社員初職場の神奈川支店（横浜市）に配属され、『彼』（一年先輩だが都内事業所一年の後二つ目の事業所へ私と同じ日付で転勤）と仕事の席を隣り合わせたお陰である。彼とはお互い非常に気が通じ合い平日は勿論週末・休日には彼の自宅（東京都）に入り浸るほどお世話になった。彼の個室（大きな洋間）には外国製のグランドピアノがありベートーヴェンはじめピアノ・ソナタ等の名曲の数々を堪能した。幼少の頃から専門家のレッスンを受けておられるプロはだしの腕前だった。そしてもう一つ特筆すべきなのは、彼のレコードの山から^{のぶとき きよし}信時 潔の大傑作^{かいどうとうせい}『海道東征』の古いSP盤を見付出したことである。初めて聴く約一時間の交声曲に感動した。このレコードは皇紀2600年奉祝演奏会の実況録音盤で、彼が児童合唱団の一員として参加した記念

盤とのこと。後日にやや歪み波打っていた何枚かのSP盤をテープに複写し届けて下さったので何回感動を繰り返したのか…懐かしい思い出。その『彼』もつい先年彼岸へ…。

この曲はその出自もあって戦後長く封印されていたが、2015年に東京藝術大学が「信時潔 没後50周年記念演奏会」を新装なった同大学奏楽堂で同大学オーケストラ・合唱団等の出演で行ないライブ録音盤も販売されている。この翌年と記憶するが、大阪フィルが大阪で全曲演奏会（最後に“海ゆかば” 合唱付）があり、その翌年（2017年）4月には東京フィルに栗友会・杉並児童各合唱団が加わって東京芸術劇場で産経新聞社主催のもとに演奏された。（この時も“海ゆかば”付）。私はこの三つの演奏会とも友人家族を誘って拝聴している。

残念ながらその後暫く演奏会が途絶えている。日本では毎年末に“第九”演奏会が全国各地で開催されるのが常であるが、この交声曲『海道東征』も毎年は無理としても、せめて日本のどこかで定例的に楽しめたらと思う。主催者・後援者の協力を得て是非実現して欲しいと願っている。

因みに私と東京フィルの関係が生じたのも東京フィル前理事長の大賀典雄氏が確か経団連副会長の頃、即ち世紀交代の頃に、車中から私に東京フィルを手伝って欲しい旨の電話を下されたからである。「人の縁」の有難さに感謝している。



私は東電在職中「TEPCO 一万人コンサート」を毎年主催するのも楽しみだった。5,000人の聴衆の前で受持区域内各地域を代表するママさんコーラス等の出演者が5,000人（合わせて一万人コンサート）。会場は武道館に定着）前半期はボニージャックス西脇久夫さん、後半期はなかにし礼さんが「世界劇」と称し主導されたが、そのお二人も今は亡^ない。18年間続いたが東日本大震災に伴う原子力事故後は中断したままである。各地域のママさんコーラスの晴れの日最終本舞台を復活提供するためにも、新たな主催者が現れて欲しいと切望している。

南 直哉（みなみ・のぶや）

1935年三重県伊賀上野生まれ。1958年東京大学法学部卒業。東京電力株式会社入社。1999年取締役社長。2002年退任。2004年より一般財団法人地球産業文化研究所理事長（現任）。2001（平成13）年より公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団評議員。

演奏会場の感染対策について

演奏会の開催にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。引き続いての感染症予防のご協力をお願い申し上げます。

写真＝三浦興一／上野隆文

客席・ロビーの対策について



入場前手指消毒、常時マスク着用、間をあけて整列をお願いいたします



入場の際に、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ホール入退場時の密集を避けるため、時間差による入退場のご協力をお願いいたします

ご来場者様の中から感染者が発生した場合には、保健所等の公的機関と連携の上、ご購入の際に取得した購入者情報を緊急連絡先として使用させていただく場合がございます。チケットご購入者ごと来場者が異なり、購入者情報を緊急連絡先として望まない場合は、必ずチケット半券裏面の余白にご来場者様のお名前と緊急連絡先(電話番号など)のご記入をお願いいたします。



Face Masks
Required



Physical
Distancing



Sanitizing
Stations



Frequent Cleaning
and Disinfecting



Improved Indoor
Ventilation

会場では常時マスクの着用をお願いいたします。

ロビーや客席内での会話はお控えください。

ロビー等ではお客様同士の間隔を十分におとりください。

頻回的手指消毒をお願いいたします。

場内はスタッフが消毒・清拭を行っています。

客席内は十分な換気を行っています。

時差入退場にご協力ください。

ご支援の御礼とお願い

コロナ禍において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、チケット払戻しのご辞退やご寄附等、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、1年半が経った今も、社会に大きな影響を及ぼしています。東京フィルもまた、深刻な打撃を受けています。2020年2月下旬から数か月にわたり、出演する演奏会のすべてが中止・延期となりました。現在も公演の中止や延期、チケット販売停止が頻発しています。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。指揮者と楽団員、スタッフはPCR検査や抗原検査を何度も受けて公演に臨んでおり、これらの検査に掛かる費用もまた楽団の財政を圧迫しています。

今後も、当団は、芸術がもたらす感動がどんな時代にも社会を豊かにするとの信念のもと、お客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら活動を続けてまいります。皆様のご寄附が大きな力となります。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（23ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行（郵便振替）	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部（096）	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書のダウンロードはこちらからも取得いただけます。
https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
 〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
 Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
 Tel 03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

紅葉の候、時下いっそうご壮健のこととお喜び申し上げます。
 今月も、皆様のあたたかなご支援に、厚く御礼申し上げます。
 希望に満ちた日本の未来を創るべく、楽団員とともども、
 皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。
 引き続き当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
 改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IHI	代表取締役社長 井手 博	ANAホールディングス(株)	代表取締役社長 片野坂 真哉
(株)アイエムエス	取締役会長 前野 武史	(株)NHKエンタープライズ	代表取締役社長 松本 浩司
(医)相澤内科医院	理事長 相澤 研一	大塚化学(株)	特別相談役 大塚 雄二郎
アイ・システム(株)	代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	(株)オーディオテクニカ	代表取締役社長 松下 和雄
(株)アシックス	代表取締役会長CEO 尾山 基	(公財)オリックス宮内財団	代表理事 宮内 義彦
(株)インターテキスト	代表取締役 海野 裕	花王(株)	代表取締役 社長執行役員 長谷部 佳宏

カシオ計算機(株)	代表取締役 社長 CEO	樫尾 和宏
キャノン(株)	代表取締役会長兼社長 CEO	御手洗 富士夫
(株)グリーンハウス	代表取締役社長	田沼 千秋
コスモエネルギーホールディングス(株)	代表取締役社長 社長執行役員	桐山 浩
サントリーホールディングス(株)	代表取締役社長	新浪 剛史
信金中央金庫	理事長	柴田 弘之
新菱冷熱工業(株)	代表取締役社長	加賀美 猛
(株)J.Y.PLANNING	代表取締役	遅澤 准
(株)滋慶	代表取締役社長	田仲 豊徳
(株)ジーヴァエナジー	代表取締役社長	金田 直己
菅波楽器(株)	代表取締役社長	菅波 康郎
相互物産(株)	代表取締役会長	小澤 勉
ソニーグループ(株)	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
ソニー生命保険(株)	代表取締役社長	萩本 友男
(株)ソニーミュージックエンタテインメント	代表取締役社長CEO	村松 俊亮
(株)大丸松坂屋百貨店	代表取締役社長	澤田 太郎
都築学園グループ	総長	都築 仁子
東急(株)	取締役社長	高橋 和夫
東京オペラシティビル(株)	代表取締役社長	三和 千之
東レ(株)	代表取締役社長	日覺 昭廣
トッパン・フォームズ(株)	代表取締役社長	坂田 甲一

トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	豊田 章男
DOWAホールディングス(株)	代表取締役社長	関口 明
(株)ニチケアパレス	代表取締役社長	秋山 幸男
(株)ニフコ	代表取締役社長	柴尾 雅春
日本ライフライン(株)	代表取締役社長	鈴木 啓介
(株)パラダイスインターナショナル	代表取締役	新井 秀之
富士電機(株)	代表取締役社長	北澤 通宏
(株)不二家	代表取締役社長	河村 宣行
(株)三井住友銀行	頭取CEO	高島 誠
三菱商事(株)	代表取締役 社長	垣内 威彦
三菱倉庫(株)	相談役	宮崎 毅
(株)三菱UFJ銀行	特別顧問	小山田 隆
ミライババイオサイエンス(株)	代表取締役	田中 めぐみ
(株)明治	代表取締役社長	松田 克也
森ビル(株)	代表取締役社長	辻 慎吾
ヤマトホールディングス(株)	代表取締役社長	長尾 裕
(株)山野楽器	代表取締役社長	山野 政彦
ユニオンツール(株)	代表取締役会長	片山 貴雄
楽天グループ(株)	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
(株)リソー教育	取締役会長	岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス	代表取締役社長	畠森 達朗
欧文印刷(株)	代表取締役社長	和田 美佐雄
(有)オルテンシア	代表取締役	雨宮 睦美
(医)カリタス菊山医院	理事長	加藤 徹
(医)だて内科クリニック	理事長	伊達 太郎
(宗)東京大仏・乗蓮寺	代表役員	若林 隆壽
(一社)凸版印刷三幸会	代表理事	足立 直樹

(株)トレミール	代表取締役	茶谷 幸司
(株)日税ビジネスサービス	代表取締役会長兼社長	吉田 雅俊
富士通(株)	代表取締役社長	時田 隆仁
本田技研工業(株)	取締役 代表執行役社長	三部 敏宏
三菱地所(株)	執行役社長	吉田 淳一
三菱電機(株)	執行役社長	漆岡 啓

東京フィル 賛助会 会員募集中

2021年3月に東京フィルハーモニー交響楽団は創立110年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは一年の始まりである1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の新しい暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、東京フィルは社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化するグローバル社会において心の豊かさを育み、文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリュード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部（担当：星野^{かのまた} 麗文）

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和土
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

柄本 三津子☆
Mitsuko Tochimoto

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

戸上 真里◎
Mari Togami

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水島 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴァイオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃○ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	辻 姫子○ Himeko Tsuji	
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	岩倉 宗二郎 Sojiro Iwakura	武田 基樹 Motoki Takeda
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri		田場 英子 Eiko Taba	平田 慎 Shin Hirata	
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	山内 正博 Masahiro Yamauchi	ステージマネージャー Stage Managers
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	豊田 万紀 Maki Toyoda	吉江 賢太郎 Kentaro Yoshie	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	山内 研自 Kenji Yamanouchi		大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	チューバ Tubas	古谷 寛 Hiroshi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki		黒尾 文恵 Fumie Kuroo		大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets	萩野 晋 Shin Ogino	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	神田 勇哉◎ Yuya Kanda		川田 修一◎ Shuichi Kawata		
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	ファゴット Bassoons	野田 亮◎ Ryo Noda	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	重井 吉彦 Yoshihiko Shigei	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	下払 桐子 Kiriko Shimobara	井村 裕美 Hiromi Imura	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	名雪 裕伸 Hironobu Nayuki	桔川 由美 Yumi Kikkawa	前田 寛人 Hirohito Maeda	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		森 純一 Junichi Mori		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
				船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 愼	細川 克己
池田 敏美	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
糸井 正博	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
今井 彰	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
井料 和彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
岩崎 龍彦	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
植木 佳奈	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
上野 眞行	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
生方 正好	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大兼久 輝宴	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介
大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳	

〈発行日〉2021(令和3)年11月2日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン・本文イラスト〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉欧文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



東京交響楽団

Afternoon Concerts 2021season
